

みどりの散歩道

2024年12月
第2号

TOPICS

寄居駅南口ラウンドアバウト内の 植栽工事が終了しました！

緑の会がこの秋予定していた「寄居駅南口ラウンドアバウト内の植栽工事」が無事に終了いたしました。植えられた苗は、秋の穏やかな気温と雨で順調に根を張っているようです。冬の寒さを乗り越え、春先、芽が動き出すのが楽しみです。



土壌改良工事

9月13日・9月14日

水はけの良い土にするための4つの工夫

多くの宿根草が好むのは水はけの良い土です。土の保水性が高すぎると夏に土壌の温度が上がって根が溶け、枯れてしまう原因になるからです。そこで私たちは、「土を握ると固まりになり、触るとほろりと崩れる」くらいの水分を含む土壌を目指し、土壌改良工事で4つの工夫を取り入れました。

- 1 土壌の団粒構造を作る微生物の活動を引き出すため、もみがらくんたん、植物性堆肥、落ち葉をすき込みました。(写真①)
- 2 植栽地の外周、内周、園路の両端に深さ30cmほどの溝を掘り、剪定枝を利用して土留め(どどめ)を組みました。溝を掘ることで、排水性と通気性が改良されます。また、立ち上がりを剪定枝で組み、隙間のある土留めをすることによって排水性と通気性を損ねず土壌の流出を防ぐことができます。
- 3 溝に直径10cm長さ1mほどの焼き杭を点々と打ち込んだり、縦穴(直径20cm縦30cm程度)を作ったりしています。縦穴には剪定枝や炭、くんたんを詰めています。深く硬い土層を打ち抜くことで雨による浸水を防ぎ透水性を改良しています。(写真②)
- 4 溝を掘った際に出た土を植栽地に加え、小高くしました。植栽地を周りより上げるだけで排水性は高まります。さらに平坦な地面を立体的にする効果もあります。

植栽工事

10月20日

宿根草の植えどきは秋

土壌改良工事から約1ヶ月経ち、土が馴染み、暑さも落ち着き、植栽工事を行いました。植えた宿根草は霜が降りる前までに根を張り、冬の寒さを経験しながら新しい環境に適應していきます。春の植え付けでは、馴染まないうちに梅雨や30度を超える夏を迎えることになります。寄居町のような暖地では、無事に夏越しさせるために秋植えがおすすめです。朝晩が10℃前後になる頃が特に良いようです。

株間を取る

宿根草は10月ごろから園芸店に出回りますが、手に乗るほどのサイズです。植え付け時は、若い苗ですが成長するにしたがって横にも縦にも大きくなります。植える植物の「株張り」を確認して、間を開けて植え付けます。初めはスカスカで映えませんが、1年後、2年後と確実に植栽スペースを埋めていきます。(写真③)



写真①



写真②

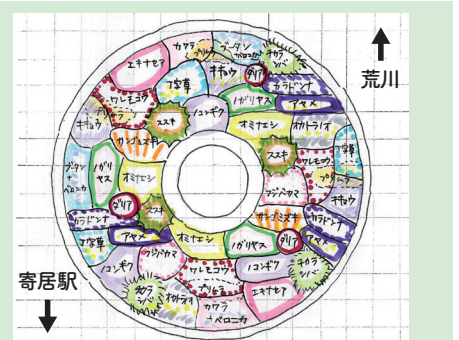


写真③

ラウンドアバウト植栽のデザインコンセプト

植栽デザインのコンセプトは、「寄居の里山や自然とつながる景色を描く」というものです。これは緑の会で管理している寄居駅南口中央通り線の在来種の寄せ植え街路樹とも通ずる理念です。

春夏秋冬違う姿を見せてくれる宿根草のガーデンですが、特に万葉集にも歌われている「秋の七草」のすずき(尾花)や藤袴、女郎花などが咲く秋のガーデンは、これら在来種の植物と園芸植物とが混ざり合い、どこか懐かしくもあり華やかさも感じられる景色になったらいいなと思いデザインしています。ぜひ注目していただけたら嬉しいです。





ヤマザクラ（バラ科サクラ属）

雑木林や里山の中に点在する、日本固有種のサクラ。ソメイヨシノよりも花期は遅く、4月ごろに新芽と同時に関花する。奈良県吉野や京都嵐山など、全国に名所も多い。エドヒガンザクラに次いで寿命が長く、寄居町の木でもある。

EVENT REPORT イベント報告

「落ち葉で物々交換会」を開催しました！

12月7日に街中や家庭で集めた落ち葉を野菜や苗木と交換するイベント「第4回落ち葉で物々交換会」を開催しました。たくさんの方にご参加いただき、落ち葉は昨年の約3倍、6,000ℓほども集まりました。ご協力いただき、ありがとうございました！



管理作業に参加しませんか？

寄居の緑と空間を楽しむ会は毎月第3木曜日に街路樹とラウンドアバウトの定期管理作業を行なっています。ぜひ一緒に作業しませんか？予約は不要です。当日13:30に Yotteco（ヨッテコ）にお集まりください。作業時間は1時間ほどです。街路樹の成長を一緒に体感しましょう！

今後の管理作業予定日

1/16(木) | 2/20(木) | 3/20(木) | 4/17(木)

持ち物

作業手袋、剪定バサミ、のこがま、汚れても良い服装、帽子、飲み物

みどりの リレーコラム

今回は…



副理事長

柴崎亮二さん



緑の会に携わるようになって、よその町に出かけた際は街路樹をよく見るようになりました。

魅力的な通りには元気な街路樹がありました。

一方で、近年きれいに再整備された駅前にもかかわらず、街路樹がバツサリ切られてしまっている町もありました。

「良い町を作りたい」という思いは一緒ですが、街路樹には課題があることがわかります。

しかし、だからこそ実現したときの魅力も増すものと思っています。

私達も、素敵な街路樹のある通りを作るため、提案や相談、修正を繰り返してきました。皆様から応援やアドバイスを頂き、継続的な管理を実現するためこの、NPO 法人を立ち上げました。

その結果、より多くの理解と賛同いただき、「在来種寄せ植え街路樹」が採用され、町と管理委託契約を結びました。

有り難く思っているのは寄居町で長く活動する造園業者さんの経験知識に支えられた工夫と熱意があることと、新たに興味をもって活動に参加してくれる方々がいらっしゃることです。

おかげさまですくすくと成長している寄居町の街路樹と新たに植栽されたラウンドアバウトの宿根草ガーデンについて、今後も皆様のご理解とご協力を頂きますようどうぞよろしくお願いいたします。

EVENT INFORMATION

イベント案内

2024年度 街路樹管理報告会

2月下旬開催予定

2024 年度の街路樹管理報告会を 2 月下旬に開催予定です。詳細は追ってご報告させていただきます。

